

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議は事業所の所在地にある自治会の役員の方に構成員として参加して頂き、運営状況などご理解頂けているが、隣接する隣町の方には事業所の存在を認知して頂けていない状況にある。	地域密着型サービスとして、事業所の存在をご理解頂くため、隣接する地域の方にも運営推進会議の構成員として参加を要請する。	・平成30年12月10日 南町1丁目集会にてご近所様へ「ケアセンター朱咲」の事業所説明と職員を連れて「紙切り芸」のイベントを披露させていただきました。今後も地域イベントで声掛けさせていただきます。話しうけました。	12ヶ月
2	11	管理者が職員個別面談(年に2回)、日ごろから職員の様子でコミュニケーションを多くとるようにし、ケアの考え方、声掛けの重要性、新たな取り組み、モチベーションを伝えることができているが、その場だけの話し合いになってしまっている。	事業所管理者だけでなく理事長、事務長、直属の上司に対しても、職員の意見を組織的に反映できる仕組みをつくる。声掛けについての重要性を全職員に理解してもらおう。	・面談については、各事業所それぞれの対応になっております。朱咲では、職員の雰囲気や様子をみながら実施させていただきます。	12ヶ月
3	33	終末期ケアの経験がまだないが、開設からのご利用している方も多く、高齢化・重度化してきている。終末期ケアの家族からのご意向もあり、今後家族、介護職員、医療従事者でどのような支援ができるか話し合う時期をむかえている。	終末期ケアを対応するに当たって、家族、職員、医療従事者とよく話し合い、どこまでできどこまでできないのか線引きを明確化していき、本人、ご家族に納得できる説明をさせて頂く。終末期を対応する職員の為にも加算を取っていきたい。	・終末期ケアの同意書についての説明をして理解して頂いた中でサインをもらい。利用者様の状態を記録に残し、また、ケアプランの変更も行いながら対応していく。 ・終末期の経験が少ない職員もいるので対応や医療連携も伝えながら不安に感じている事を一つ一つ取り除いていく。	12ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。